

祓い屋の インターン

Hunter for the SuperNatural

BLACK LACQUER

Presented by Kuro_urushi



Repost is prohibited !



※この作品はフィクションです。
実在の人物・団体等とは一切関係ありません。

- *Unauthorized reproduction, duplication, or uploading to the web is prohibited.
 - *Unauthorized viewing and purchase by persons under 18 years of age is prohibited.
 - *Please refrain from viewing in public places.
 - *Resale, selling on online auction/flea market apps, etc. is prohibited.
- ※無断転載・複製・WEBへのアップロードを禁じます。
※18歳未満の閲覧・購入を禁止します。
また、公共の場での閲覧はご遠慮ください。
※転売、ネットオークション・フリマアプリなどへの出品は禁止します。

『マリーさん』

SNS"Cross"上に存在するという
謎のアカウント

もしこのアカウントから
フォローされ、
DMが送られてくると

送られた者は翌日頭髪を剥がれ
殺されるという

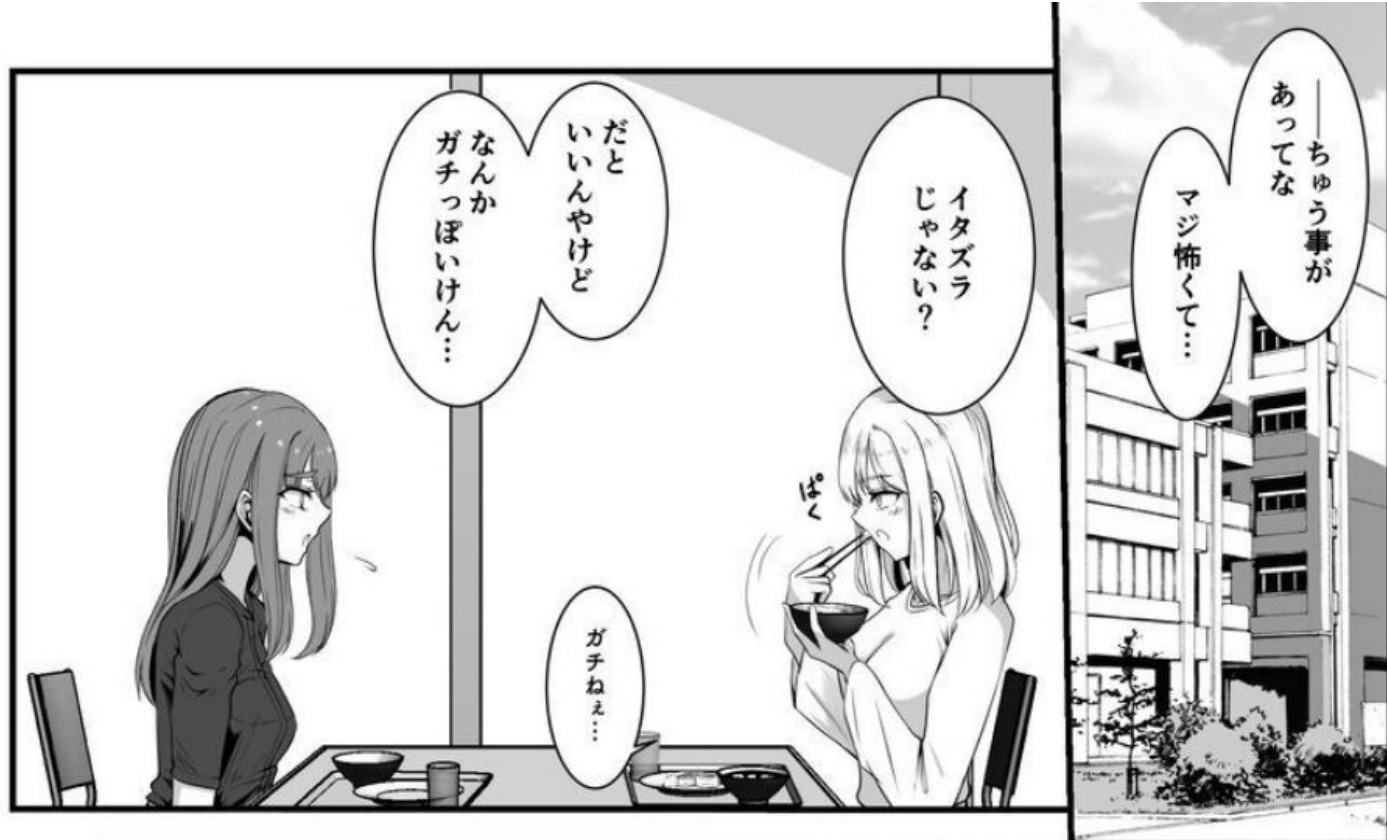
『マリーさん』、
本当にあるわ…

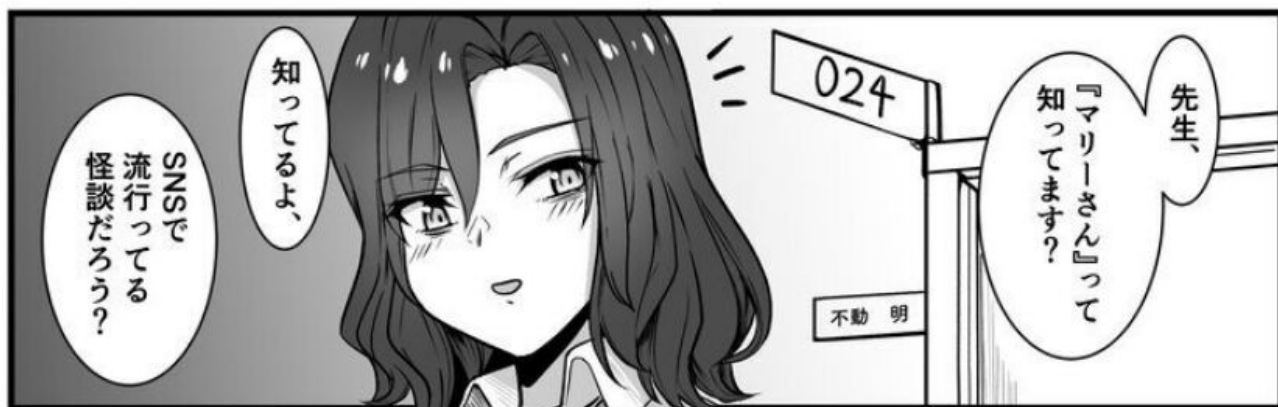
—ちゆう怪談、ねえ…

多分誰かの
イタズラやろうけど

しょーもねえ

暇な人もおるなあ…







私の部屋で
ですか!?

海部君を
泊めるんだろう?

それに
キミの家は立地の
都合がいい

南側に
山があるからね

そこから
これで
狙撃する

私がいると
警戒して現れない
可能性もあるし

がちゃ

何人も喰って
肥大化している
ヤツだ

現れたら
逃げられないよう
確実に仕留める

あの…

私達大丈夫
なんですか…?

ちゃき

ノーリスク
ではないね、
けど—

倒さない限り奴は
海部君を狙うんだ、
協力してほしい

大丈夫、ある程度の
安全は保証するよ

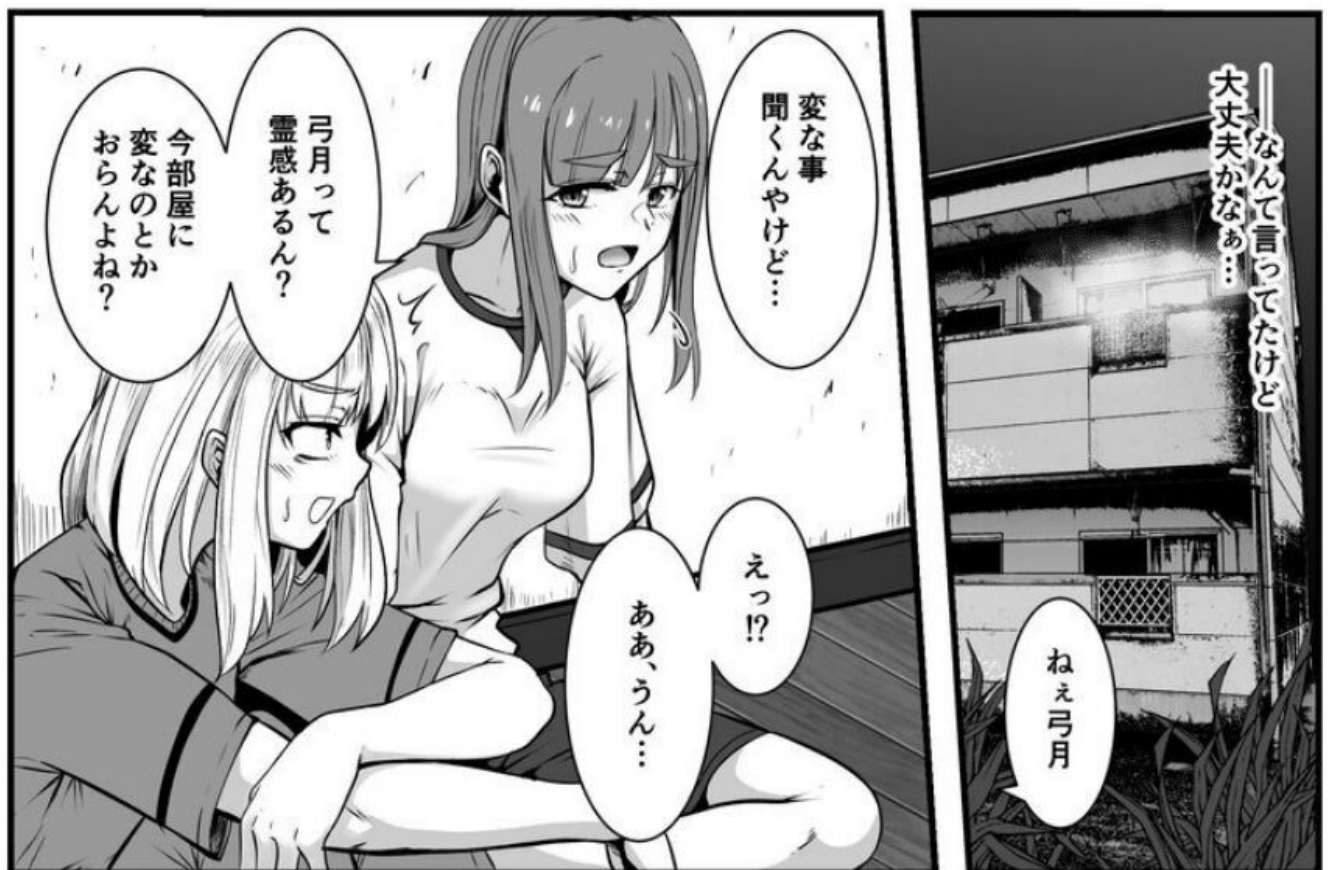
君達用の
隠れ蓑を
用意した

うわ出た、
変なスーツ…

カサ

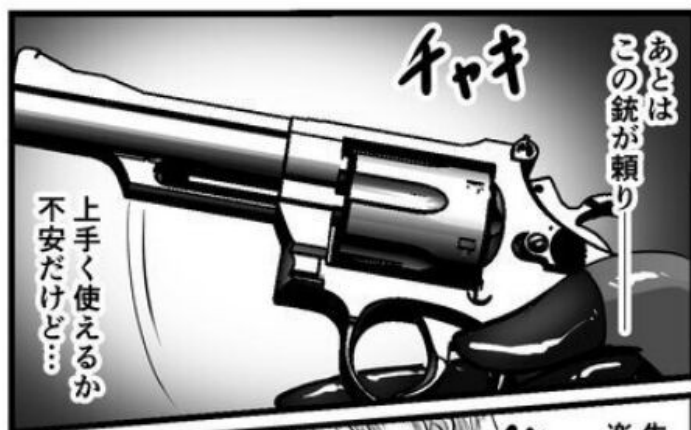
生地が靈気を吸って
探知を阻害する

これを着れば
ヤツの眼を
欺けるだろう













ヒア...

ヒア...



でかい...っ
怨霊っていうか
もはや怪物じゃん...っ

ズル... ズル...

とにかく逃げないと



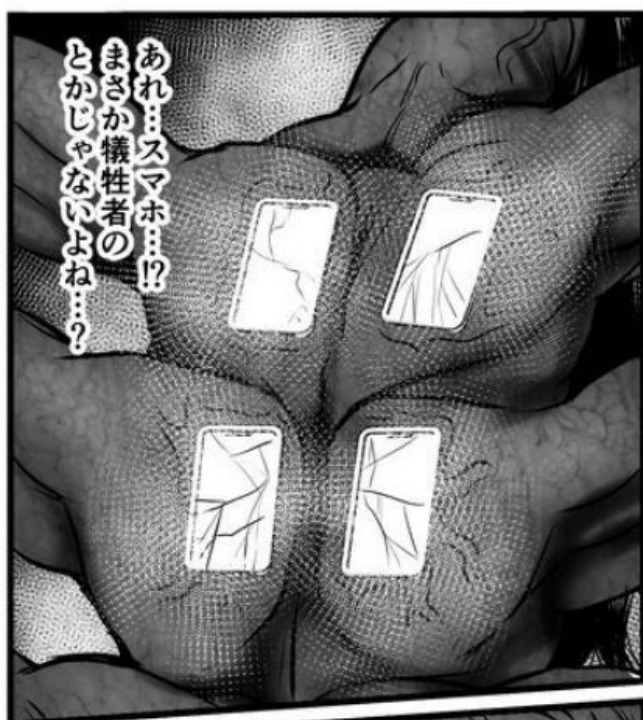
ニャー



ていうか
汐那にも見えるって
ヤバすぎる...っ

ハア

ハア

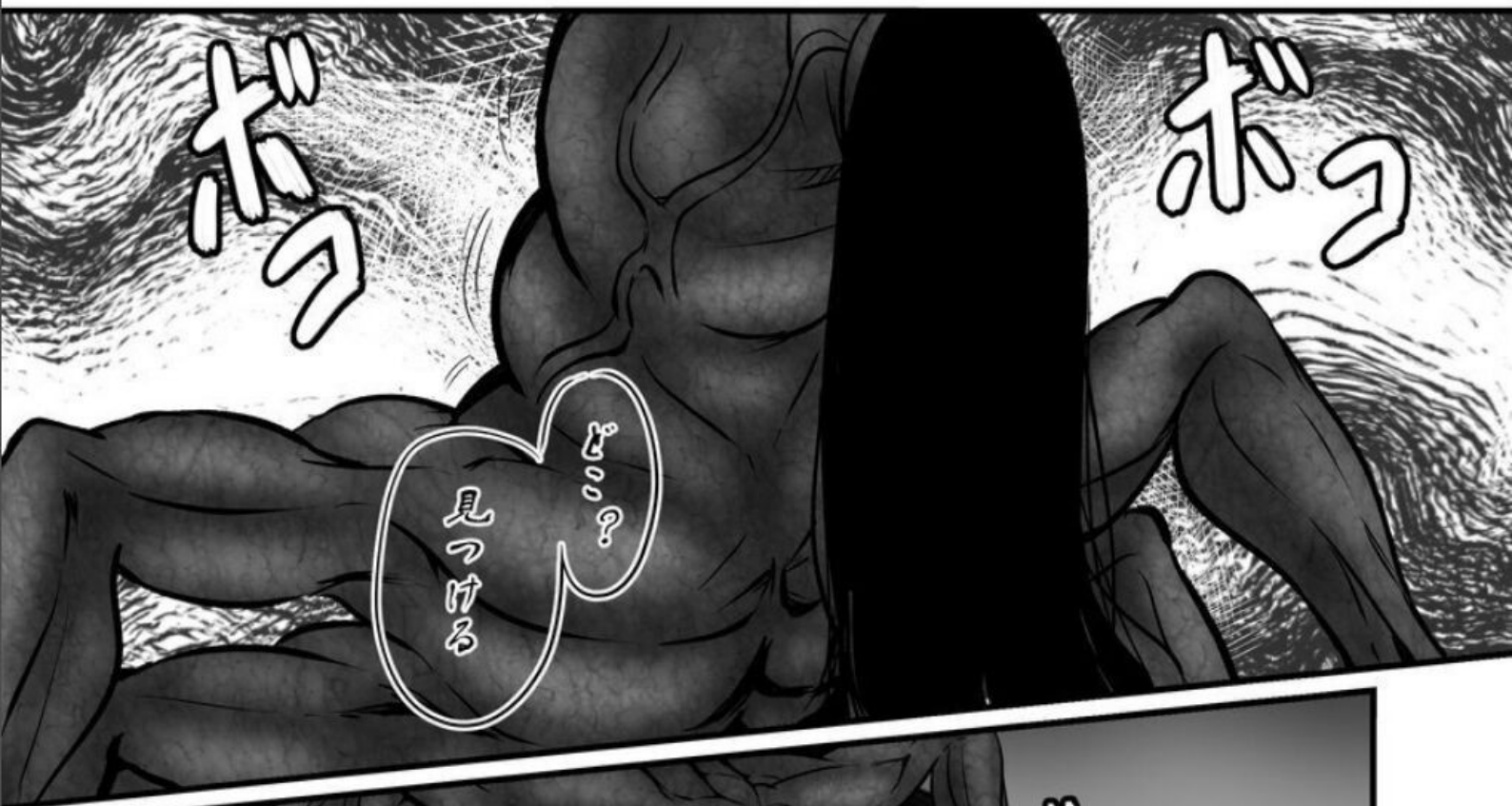


あれ...スマホ...!?
まさか犠牲者の
とかじゃないよね...?



かみれてる

00
00
00





やるしかない…ッ



武器はある…



髪が絡み付いてくる…!!

コレ、ばれるの
時間の問題かも…ッ



汐那もよく我慢して
くれてるけど…

これ以上はもたない



たとえ倒せなくても
私が囃にならで。

アイツを
先生の前に
引きずり出す…!!



その銃は霊圧銃――

故に使用者の
霊圧が威力を左右する

銃を構えたら、

強い感情を保って
霊圧を高くキープするんだ

モノはプロップガンだが
霊体に対しては
威力を発揮する

撃発すれば霊圧が
指向性をもって
放出され――

霊気の衝撃波を
標的に叩き込む

もう許さない……ッ







随分
待たせてくれる

だが射線に出たのが
運の尽きだ

コイツも
SNS怪談の産物か…

死んでからも
頭皮剥ぎとは
業の深いヤツだな

無事『引導』を
渡せてよかったよ

ガチャ

モリ

モリ

サ

やるなら早く
やってくださいよ！

心臓止まるかと思った...

怖い思いを
させてすまない

でもキチンと
反撃できてた
じゃないか

あの時は必死で...

その想いが大事だ

それが強い霊圧に
なるからね

あの...！

アレ...
何やったん
ですか...？

あんなモノが
おるなんて...

あれはSNSが生み出した怪物だよ

え…？

元は一介の悪霊だろう
それがSNSの怪談…

膨大な意識の塊から
生まれた依代に憑依した

現代のネット社会
ならではの存在だ

奴は髪に強い執着を
持っていた…
恐らく生前からね

だけど一介の悪霊に
何かできる力など
本来は無い

「幽霊を見れない」のは
肉体に備わった
ある意味強力な免疫だ

物理的にいないものは
認知しなければそこには
何もいないからね

そんな奴に
物理干渉ができる程の
力を与えてしまう

SNSの闇が
人を脅かしつつ
あるんだ

君は奴を知った

それは獲物の
存在を奴にも
知らせてしまった

それが
奴に付け入る隙を
与えたんだろう

怪談には
知るだけで
危険なモノもある

怨霊は幾多の魂を
繋いで自らの
魂としている

故に怨霊は
自己を保つため
獲物を求める

怨霊に
食われるのは
悲惨だよ、

終わりのない
牢獄に囚われるん
だからね



別府・武瓦温泉



はあゝ

疲れが抜けるゝ









おしまい... ?



奥付

発行日 2023年10月22日

印刷
サークル
発行者

栄光様
Black lacquer
黒漆

Twitter
Pixiv
連絡先

@kuro_urushi
3931854
parazan_d@yahoo.co.jp



2023/10

BLACK LACQUER

